

海上の ごとばんさん



後鳥羽院遷幸八百年
GOTOBAIN
SENKO 800th 1221-2021

しまね文化ファンド
助成事業
助成：公益信託しまね文化ファンド

後鳥羽院遷幸八百年

悠久の海の彼方から

島民劇



これぞ、島民劇

上演 令和4年3月6日(日) 開場 17:30
会場 隠岐神社特設ステージ 開演 18:00
雨天時変更あり
裏面ご確認ください

主催 島民劇実行委員会
協力・作・演出 劇団幻影舞台
協力 後鳥羽院顕彰事業実行委員会
つながる800
www.gotobain-kensyo.com



キャスト

後鳥羽上皇 亀菊(白拍子)・伊賀局 藤原能茂(上皇の近臣)	田口 耕 増谷実香 本田大善		
三浦胤義(上皇方の武將) 藤原秀康(上皇方の武將)	吾郷 均 大窪諒慈		
村上助九郎	波多紀昭		
漁 師 漁師の女房 漁師達	濱中香理 石川さやか 白石宗久 吉田公三	日高基嗣 的地茂樹	亀原雄二 永海尚二
隠岐島前高校演劇部顧問教師 演劇部員	笹鹿岳志 笹鹿真央 山本志歩	水野結子 根岸浩章	日下こころ
群 読	榊原信也 榊原有紀 田中里奈	濱中香理 石川さやか 村尾茂樹	山本 愛 寺田雅美 永海尚二
詩 吟 日本舞踊 民 謡	石橋緑岳&隠岐國縁吟会 吾郷真季子 平野典代 柏谷美香	濱中裕代 根岸 茜	井上加奈子
島の子供たち	石川 悠 吾郷生織		

スタッフ

[作・演出]	清原 真		
[演出助手]	笹鹿岳志	本田大善	石川さやか
[舞台監督]	清原 真		
[舞台監督助手]	湯浅伸二		
[照明]	光田克彦		
[照明助手]	尾方礼治 日向純平	勝部 肇 大石健夫	真玉隆志
[音 響]	斎藤一彦	松田明男	宮岡健二
[大道具]	楠見星彦 日高基嗣 吾郷 均	高野誠也 吉田公三 井田翔太	村井 宏 大窪諒慈
[稽古・進行]	濱中香理 田中里奈	松本清孝	豊田庄吾
[舞台美術・小道具] (人形製作・人形操作)	松本清孝 吉井玲香 吉野あゆみ 角谷穂乃香	永海尚二 小坂真里菜 江角志記 菊池理美	榊原信也 平井 努 伊藤 茜
[時代考証・その他]	滝中 茂 田口 耕	波多紀昭	榊原信也
[海士ことば]	濱谷包房		
[民謡指導]	万代初枝		
[情報・宣伝]	榊原有紀 村尾茂樹	保野昌和 南 貴博	曾根裕子
[当日・広報]	村尾由美子 田中好子	橋本香代 今村真理	福田裕子
[オンライン担当]	豊田庄吾	塚越 優	
[総合監修]	藤岡大拙		

開催にむけて

今回の島民劇のテーマは、「海士のごとぼんさん」という演目の中にある。「なぜ、海士の人々は今も尚、後鳥羽上皇のことを『ごとぼんさん』とお慕いしているのか。」それを追究しようとしたのが、今回の島民劇のきっかけである。島民の島民による島民のための「島民劇『海士のごとぼんさん』公演」の始まりは、とても困難なものだった。人もお金も組織もない。ないものだらけだった。しかし、「島民による『ごとぼんさん』をテーマにした劇を創りたい」という想いだけがあった。劇団幻影舞台の清原真氏に脚本を書いていただいたことは、ありがたかった。しかし、コロナ禍で人が集まること(稽古)がなかなかできなかった。そんな中で、週に3回夜に集まり劇中で使う人形を作る仲間、オリジナルなデザインで劇団のロゴマークを創る仲間、オンラインでそれぞれの自宅から稽古する仲間、誰も見ていない外で黙々と台詞を覚える仲間、雪の中で一日寒い思いをしながら特設舞台を創る仲間の姿があった。協賛金を提供してくださる地域の方々が沢山おられた。そうしてやっと「島民劇『海士のごとぼんさん』公演」ができる運びとなった。空の上で、「ごとぼんさん」は、喜んでくださっていると思う。

あらすじ

隠岐島前高校演劇部(架空)は、今年の県高文祭で人形劇をすることになった。演目は、「海士のごとぼんさん」である。「ごとぼんさん」(後鳥羽上皇)についてあまり関心なかった部員達は、後鳥羽上皇についての学びを始める。鎌倉時代、後鳥羽上皇は、承久3年(1221)に北条義時追討の院宣を発する。これが「承久の乱」の始まりである。鎌倉方19万騎に対して上皇方は2万数千騎。戦いはあっけなく幕府軍の勝利に終わり、後鳥羽上皇は隠岐へお遷りとなる。海を渡る船。静かだった海上は激しく荒れる。上皇は「我こそは新高島守よ隠岐の海の荒き波風ころしてふけ」とお詠みになる。海上は瞬間に穏やかになった。それから19年間後鳥羽上皇は海士でお過ごしになられ、崩御される。島で詠まれた和歌は約700首と言われている。その間、隠岐の豊かな自然環境の中で、島の人々との様々なふれあいがあった。都人だった上皇の心境は、島の暮らしでどのように変わっていったのであろうか高校演劇部員達の後鳥羽上皇への関心は高まっていった。

チケット

3月6日が晴天で、隠岐神社会場で開催の場合、隠岐神社会場にて当日チケットを販売します

大人:1000円 高校生以下:500円 未就学児(席不要の場合):無料

※3月6日が雨天の場合(当日券は、席数の都合でございません)

隠岐開発総合センター・島民ホールにて2部にわけて、同日に開催します。

昼の部:開場12:30 開演13:00 夜の部:開場17:30 開演18:00

(一般チケット購入者は昼公演、招待チケットの方は夜公演での観劇となります。内容は同じです)

※当日は必ずチケットを持参して受付をお済ませください。※開演15分前には受付をお済ませください。※チケット購入時、高校生以下は学生証など年齢のわかるものを提示ください。※本券は如何なる事情(紛失、消失、破損等)でも再発行いたしません。※新型コロナウイルス感染症等の状況により、公演形態が変更になる可能性があります。

●詳細は右記のFacebookページにてご確認ください。

<https://fb.me/e/1k0phiuW3>



島民劇
youtube無料配信用
QRコード



お問い合わせ

〒684-0403 島根県隠岐郡海士町海士1521-1 海士町後鳥羽院資料館内 島民劇情報宣伝係
メール:shimamori1221@gmail.com (劇団SHIMAMORI 担当・榊原)
電話:08514-2-1470 (榊原) 平日13時~17時 ※不在にしている場合もあります。ご了承ください。

